（フビライ・ハン）が送ってきた使者を、執権の（北条時宗）が追けたので元は2度攻めてきました。この2度の襲来を（元寇）という。

まず（1回目（1274）年（文永の役）という。

元めっちゃ強いし一
日本大苦戦😭　元の戦い方には特徴が2つあったから👀

- （集団戦法）　日本は1対1の戦い方だった。
- すぐれた（火器）の使用。　日本の馬も火薬に比びる😭

元軍の火器（てつはう）

↓

台風がやってきて　日本セーフ。助かった。
まさしく神風〜

その7年後（2回目（1281）年（弘安の役）という。

また　元が来た！

でも今回は日本もまた来るかもしれないとあらかじめ予想していたから、防ぐための対策をとっていた。

（石築地）、石垣や防塁などの設置

↓

今回も台風がやってきて助かった。

3回目はなかったよ。　企画倒れで終わったんだって。
そのうちフビライの関心は日本以外に移って、フビライも死んじゃった。

知らずに北条時宗は、今度いつ襲われるのだろうと悩みを持ち続けて死んだそうです。

完